

## 道矯歯誌投稿の手引き(症例報告・症例発表)

道矯大会において症例発表・症例報告をされた会員の皆様には、同年発刊の道矯歯誌への投稿をお願いしております。道矯歯誌を参考に、下記の点に留意下されご投稿をお願い致します。尚、本ファイルと共にフォーマットファイル3部(Word 1部, Power Point (A)と(B)の2部)を添付致します。投稿は、メールによって行なわせていただきます。アドレス等の詳細は文末に記載致します。

### {はじめに}

- ・ 原稿は2部提出、「症例の概要(Word 1部)」と「症例資料:写真、パノラマ、セファロ分析・重ね合わせ(Power Point/治療経過写真のあるもの(A)と無いもの(B)のどちらかで作成」から成ります。
- ・ サイズは、A4ではなく「レターサイズ」になります。大会抄録とは異なりますので、ページ設定で変更されてあるか確認下さい。

### {症例の概要}

- ・ 内容は大会抄録と同一とし、フォーマット「症例の概要」で提出して下さい。大会前に学術で査読を終えていますので、原則として内容の変更、訂正は認められませんが、文字の訂正、数値の変更等がある場合は、その旨を編集にお知らせ下さい。
- ・ 原稿文字はMS明朝体、10ポイントとし、演題名、演者氏名に続き、症例発表(報告)の目的からは、45字×35~43行 1,600~2,000字程度にまとめて下さい。余裕がある場合は、考察に参考文献を加筆することも可能です。
- ・ 大会抄録で用いた演者顔写真(白黒)を掲載しますが、それ以外の写真を希望される場合は、原稿と一緒に添付して下さい。

### {症例資料}

- ・ 改めて、レターサイズになっていることを確認して下さい。
- ・ 治療経過写真がある場合はフォーマット(A)を、ない場合は(B)を使用して下さい。
- ・ 写真数が多いため、そのまま写真を貼付して行くとファイルが非常に大きくなり(数十MB)メール添付が不可能になります。これを防ぐため、添付する前に①白黒写真にする②画像解像度を低くする、ことが必要です。特に、パノラマ写真はファイルサイズを十分下げて下さい。
- ・ フォーマットファイルを利用し、「枠」に合わせて写真を排列して下さい。位置を確認後、写真単位で「グループ化」を行なうとズレを防ぐことができます。排列、位置の設

定が完了後、「枠」を削除して下さい。

- 顔写真：白黒写真で、左から側面・正面・スマイルの順で排列して下さい。原則として、目隠し(マスキング)をお願いします。尚、患者の同意書がある場合目隠しは不必要ですが、必ず同意書原本を送付して下さい(後に返却)。
- 口腔内写真：顔面写真同様、不必要な部分は十分トリミングして下さい(道矯歯誌参照)。尚、上下歯列写真は最後臼歯まで含めて下さい。
- セファロ分析：基本的な分析項目を列挙しています。必要に応じて、追加、削除して下さい。原則として、骨格系、歯系、軟組織の評価が可能なこととします。
- 重ね合わせ：全体、上顎、下顎の重ね合わせ図とし、基準点、基準線を明示して下さい。校正上、後で位置修正をしやすくするため、それぞれの図は個々に排列して下さい。

以上、作成する上でご不明な点がございましたら、お気軽にご質問下さい。

#### メール送付先

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757  
北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育系、歯科矯正学分野  
飯嶋 雅弘

TEL : 0133-23-1211 (代) / FAX : 0133-23-3048

E-mail : [iijima@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:iijima@hoku-iryu-u.ac.jp)